

# ！ 警戒レベルと避難行動〔自分の命は自らが守る〕

町より高齢者等避難(警戒レベル3)や避難指示(警戒レベル4)等が発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁より警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくても危険度分布を用いて自ら避難の判断をしてください。



キキクル  
(危険度分布)

キキクル 🔍

## 警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	町からの避難情報	気象庁などの情報	相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※ 必ず発令される情報ではない	大雨特別警報 キキクル(危険度分布) 氾濫発生情報	5相当
《 警戒レベル4までに必ず避難を！ 》				
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報 極めて危険 非常に危険	4相当
3	危険な場所から高齢者等は速やかに避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒(警戒級)	3相当
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報	2相当
1	災害への心構えを高める		早期注意情報(警報級の可能性)	

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。

※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

## 警戒レベル1・警戒レベル2

### 防災気象情報に注意

台風や集中豪雨の場合は、地震などとは違い毎年同じ時期に同じような現象を繰り返します。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。



## 警戒レベル3

「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者等、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始

### ▶ 高齢者等の避難に協力

お年寄りや小さなお子さま、身体の不自由な方などが、早めに避難できるよう、近所のみなさまは避難に協力しましょう。

特に、一人暮らしのお年寄りや病気の方々には、ふだんから気配りが必要です。

### ▶ その他の人は避難の準備！

